



ゼロの日のための願い (その10)

道路標識・標示

道路には、数多くの種類の道路標識がたち並んでいます。これは車両の安全な通行をはかるために設けられているもので、人や車は、これらの標識・標示に従って、はじめて安全な通行ができるのです。標識や標示は車両に対するものが多いのですが、歩行者のためのものも少なくありません。歩行者は、歩行者に対する標識だけでなく、これらの持つ意味を理解することが大切です。

提言

- ★ 児童には特に、安全な通行のために、標識・標示があることに気づかせましょう。
- ★ 通学区域内にどんな標識・標示があるかを話しあいましょう。
- ★ 標識・標示を無視して起った事故の恐しさについても家庭で話しあう機会をつくりましょう。
- ★ 学校では、通学路の地図に児童が調べたことを記入させるなどして、継続的に関心を持たせるようにしましょう。

熊本県交通安全対策室

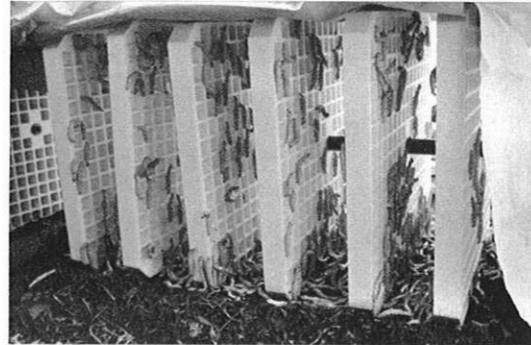
養蚕の近代化進む

—下益城郡中央村中山養蚕組合の場合—

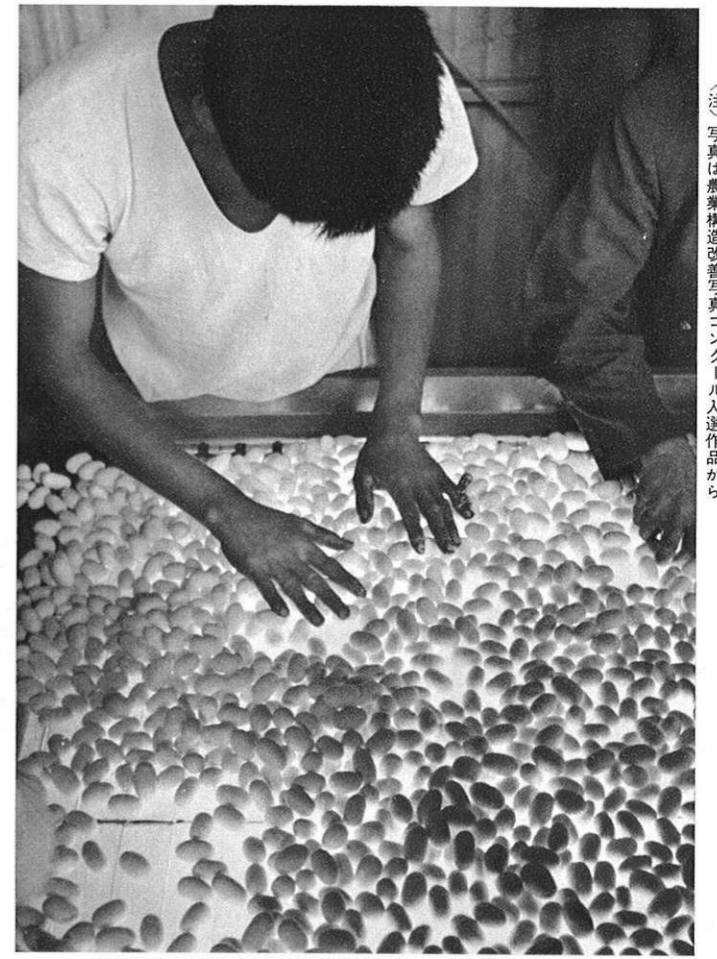
県下でも、古くから養蚕のさかんなこの地方では経営規模の大きい養蚕農家も多い。近年省力養蚕が活発に取り入れられ、実績も上昇している。



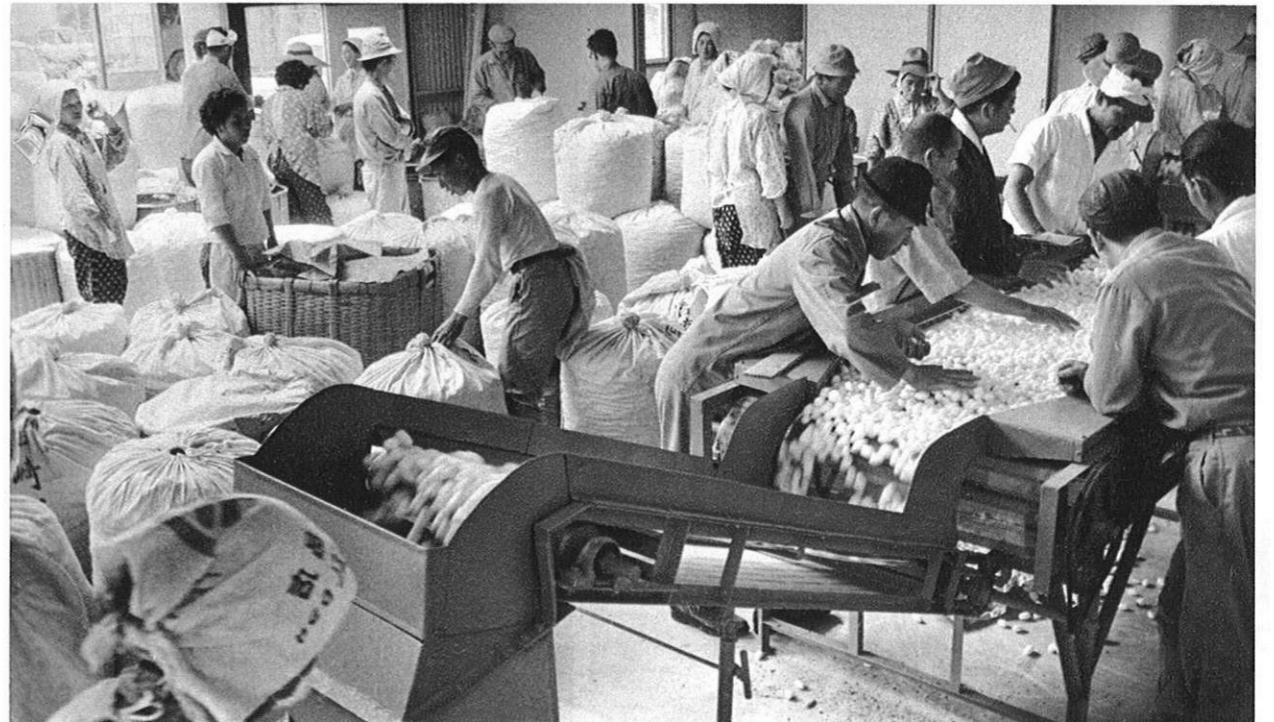
今までの養蚕は室内で行なわれたが、屋外飼育ができる条桑飼育は労働力を軽減している。



上・スチロールまぶしの中に蚕がはい上っていく仕組みになっている改良上蒔法。



上・出荷前に行なわれる自動選蚕器による蚕選別。下からの蛍光灯をとおして蚕の条件を調べることができる。



上・選蚕された蚕は袋詰めになれ出荷される。ベルトコンベアーですべて流れ作業で行なわれる。